

群馬県富岡市 埼玉県深谷市 友好都市提携協定調式



富岡市と友好都市提携協定を締結

▲友好都市提携協定締結を終え、固い握手を交わす岡野富岡市長（写真左）と小島深谷市長

富岡市と友好都市提携協定を締結

『富岡市の観光スポット』



富岡製糸場
日本の近代化に大きく貢献し、殖産興業の一翼を担った国内初の官営で洋式の模範器械製糸工場。現在、世界文化遺産登録を申請中



妙義山
日本三奇勝の一つ。山麓の妙義山パノラマパークには美術館や日帰り温泉など施設が充実



丹生湖
ヘラブナ・ワカサギ釣りのメッカ。春は湖畔に桜が咲き誇り、秋の紅葉も見事な観光スポット

岡野光利富岡市長メッセージ

このたび、深谷市と富岡市の友好都市提携協定が無事整いましたことについて、お慶びと感謝を申し上げます。

今回の友好都市提携は、富岡製糸場の建設にあたり中心的な役割を果たしたのが、深谷市出身の渋沢栄一翁であり、尾高惇忠翁であり、葦塚直次郎翁であったことを縁としています。今日の富岡製糸場が存在するのも、当時の深谷の3人の偉人たちの功績があったからこそと言えます。今後、この提携をきっかけに、相互の交流がさらに発展することを期待したいと思います。

また、来年に控える富岡製糸場の世界文化遺産登録へ向け、深谷の皆さんにもご支援をお願いするとともに、今後の両市の末永いおつきあいを祈念し、お礼とさせていただきます。

富岡市から友好都市締結記念プレゼント

富岡市と深谷市の友好都市提携協定締結を記念して、世界文化遺産登録を目指す『富岡製糸場』の招待券を、抽選でペア50組にプレゼントします。

ご希望のかたは、11月20日(水)までに、はがきかファクスまたはメールで、①住所②氏名を記入の上、下記までお送りください。

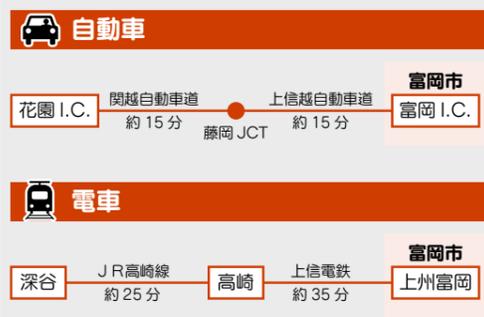
【送付先】深谷市役所企画課『友好都市締結記念プレゼント係』(☎366 - 8501住所不要、☎574 - 6665、✉kikaku@city.fukaya.saitama.jp)

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

▶ 錦絵『版画上州富岡製糸場図』(明治5年)のはがき付き招待券



『アクセスガイド』



▲両市で共同作製したパンフレット『富岡製糸場と深谷の偉人たち』は、市内では旧渋沢邸『中の家』、渋沢栄一記念館、誠之堂・清風亭、生涯学習課で配布しています

世界文化遺産登録を応援

現在、世界文化遺産登録を目指している富岡製糸場の建設や初期の経営に尽力したのが、深谷市出身の渋沢栄一、尾高惇忠、葦塚直次郎の3人でした。

このことが縁となり、10月4日、富岡製糸場開業記念日に、富岡製糸場東蔵倉庫において、深谷市と富岡市は友好都市提携協定の調印式を行いました。

富岡製糸場と深谷の3偉人

今後、両市で幅広い分野にわたる交流を通じ、相互の理解と連携を深めていきます。

渋沢栄一：大蔵省租税正、製糸場設置主任として、近代的な器械製糸工場の建設、フランス人指導者の招聘に貢献

尾高惇忠：渋沢栄一の論語の師、初代富岡製糸場長、新しい製糸工場の建設地の選定、建設資材の調達なども手掛ける

葦塚直次郎：尾高惇忠に請われ、富岡製糸場の主たる構造物に使用するレンガの製造を担当。深谷市から富岡市に移住

平成25年					平成24年			平成23年		富岡市・深谷市のこれまでの歩み
10月	9月	8月	4月	3月	11月	10月	2月	11月	10月	
友好都市提携協定を締結	自治会連合会役員が『まちづくり研修会』で富岡製糸場を見学	深谷市立小学校16校が社会科見学や遠足で富岡製糸場の見学を開始	富岡製糸場『観桜会』に武州煮ぼうとう研究会、道の駅おかげが参加	富岡市と大規模災害時における相互応援に関する協定を締結	富岡市長と深谷市長が『広報ふかや1月号』で対談	深谷市産業祭に富岡製糸場世界遺産伝道師が参加	議員クラブ(深谷市議会)が富岡製糸場などを視察	『栄一塾』および『煉瓦講座』の参加者が富岡製糸場を見学	深谷市市長が富岡市を訪問	深谷市長が富岡市を訪問

中心市街地の活性化を目指して

市民主体のまちづくりを推進

問い合わせ 都市計画課(☎574-6654)



「中央地区(仮称)にぎわい通り将来イメージ」

「にぎわいのあるまち」を再構築

市では、これまで中心市街地を「にぎわいのあるまち」として再構築するため、区画整理事業(ハ一下面)や商業などの活性化事業(ソフ卜面)を一体的に推進してきました。産業祭のまちなかでの開催や新たなイベントの実施、「ふっかちゃん横丁」などもオープンし、さらに、七ツ梅酒造跡地の「深谷シネマ」を核とした取り組みも徐々に拡大し、活性化の拠点として注目されています。

また、市では、現在「市民主体のまちづくり」を推進しており、各団体や昨年誕生した、深谷まちづくり市民会議「ぶじっくくぶ」などを支援し、共に活性化に取り組んでいます。

※自治会、商店会、NPO団体などで組織された任意の市民団体



市では、市民主体のまちづくりを応援しています。市を元気にしたり、何か取り組みたいかた、ぜひ参加しませんか！

【まちづくり推進って?】

Q1 どんな取り組みが行われるの?

▽皆さんがまちづくりに参加するきっかけや場の提供を行います。今年度は講演会(5ページ参照)を実施し、市有地を活用したまちなかにぎわいづくりに興味のあるかたを募集(5ページ参照)していきます。

Q2 中心市街地を活性化することでどんなメリットがあるの?

▽中心市街地の魅力を高めることは、居住者や集客の増加につながり、事業者の投資が期待され、市の税収の確保にもつながります。

Q3 将来はどんな「まち」になっていくの?

▽これからは、市民、行政、関係団体が目標を共有した事業が展開され、まちなかが生活街としてにぎわうことが重要です。さまざまな機会を通して、皆さんと一緒に「まち」の将来を考えていきます。

また、歴史的な街並みと調和のとれた市街地景観の形成に取り組んでいきます。

市民まちづくり講演会

◎都市計画課(☎574-6654)
 とき 11月30日(土)午後2時
 ところ 七ツ梅酒造跡東蔵ホール
 内容 第一部「基調講演」街のオープンスペースを考える、第二部「パネルディスカッション」地域資源の活用について
 講師 基調講演「村山顕人氏(名古屋大学准教授)
 古塚大塚さん(☎090-4371-5260)・竹石さん(☎090-3912-4968)

「ぶじっくくぶ」メンバー募集

市民の皆さんが主体でまちづくりを考える会「深谷まちづくり市民会議ぶじっくくぶ」では、まちづくりに興味のあるメンバーを募集中です。

まちなかを元気にする 企画提案を募集

◎都市計画課(☎574-6654)

まちなかにある市有地を、地域の活性化や市民の交流の場として活用を希望するから企画提案を募集します。優れた提案者には、市が指定した場所(約700㎡)を貸し出します。

対象 市内に事務所または、活動場所がある市民団体・事業者など
 応募要項 問い合わせ先で配布するほかホームページからも入手できます。

◎12月24日(火)までに、提案書を作成の上、問い合わせ先へ事業説明会 11月9日(土)午後2時、深谷公民館大会議室

にぎわいを創出する 市民活動スペースがオープン!



10月5日、深谷町(旧中山道沿い群馬銀行深谷支店の西50m)にコンテナをモチーフとした建物群が出現しました。市民の皆さんに貸し出し可能なキッチンラボ(キッチンスペース)、深谷ギャラリー(多目的スペース)、ウッドデッキ&ガーデンなど、ぜひご利用ください。

問い合わせ 深谷ベース事務所(☎572-8100)



▶キッチンラボには、IHキッチン、グヒーター付きのミニキッチンを設置。料理教室や飲食イベントに最適です。オープニングイベントでは、地元野菜を使用した料理が振る舞われ大好評でした

中心市街地の活性化を目指して

～市民主体のまちづくりを推進～



▲まちの魅力に触れるツアー!『まち歩き』



▲深谷を愛する人たちが結集!『えん旅』



▲路地裏からにぎわいを!『華の宿場まつり』



▲本と出会える場!『円の庭』七ツ梅酒造跡